

新入会員の皆様へ

一般社団法人 全日本建設技術協会 会長

おおいし ひさかず
大石 久和



新入会員の皆様、全日本建設技術協会（以下、全建）へご加入いただき、ありがとうございます。全建は全国の建設系公務員を主体とする約6万人の会員からなる団体で、会員の技術力向上・社会的地位の向上・連携交流の促進を目的に事業を進めています。今、皆様が手にしている月刊「建設」の発行、様々な建設系の行政課題をテーマに取り上げた「建設技術講習会」の開催、特色ある現場を見学する「実地研修会」の開催、技術図書の割引購入など、会員の技術力向上につながる事業などを実施しています。さらに地方協会が取り組む講習会や研修会、また会員相互の親睦・交流を深める様々な活動への助成も行っています。

近年、わが国ではインフラが国民生活や経済活動にきわめて重要な役割を果たしていることが十分に認識されていません。このため、諸外国では国のトップがインフラ整備の重要性を語り、インフラの予算を大きく伸ばしているのに対し、日本では公共事業費の減少が続いてきました。また、わが国では昨年、一昨年と大きな災害に見舞われ、昨年の台風19号では、比較的防災施設が整備されていた南関東はかろうじて大被害を免れましたが、整備の遅れた千曲川、阿武隈川などでは多くの堤防が破堤しました。備えあれば憂いなし、が証明されたのです。

このような状況のもとで、会員一人一人が技術力を向上させ、高い職務遂行能力や課題解決能力を習

得するためには、会員の皆様が日常業務の中で様々な知恵を絞り、工夫を重ねるとともに、その努力や苦労を一人だけのものとせず、会員共通の経験とすることが重要です。このため、全建では、**学ぶ・つなぐ・広げる**の3つのコンセプトを掲げています。これは、会員が手にした技術やインフラの状況などの情報を会員同士の連携・交流によって世代・地域・機関を超えて伝承し、その情報を会員だけでなく広く国民にも発信していこうとするものです。

公務員技術者として生きていこうとすると、公務員技術者とは何かという範疇で物事を考えてしまう人がいます。まずは人として深くなることで、広がり深い、幅広い人間になることが大事です。社会に何かあるとき、自分には関係ないこととしてしまうのは一番よくないことで、すべての出来事、世の中の動いている森羅万象は何らかのかたちで私たちに関係があるのです。私は土木技術者なのだからそれは知らなくていいという感覚を最初から入れるなということなのです。われわれ公務員技術者はまず仕事を企画する側です。若い人たちはあまり現場を経験できないという話をよく聞きますが、できるだけ多くの住民の方々などに接して現場感覚を身につけ、地域の暮らしがより安全、快適になるよう考えて、地域、社会のために役立つ存在になるよう全力で取り組んでいただきたいと思います。